

2026年5月17日 主日礼拝 <聖餐式>

司 会 ①熊谷師 ②吉原兄 ③浜田兄(福原姉)
祈 禱
奏 楽

賛 美 聖歌423番「つげよ主に」
(主を喜ぶことは)(主はぶどうの木)

使徒信条

聖 書 ① テモテへの手紙 二4章1～5節 (P385)
② マタイによる福音書18章21～35節 (P35)
③④ ヨハネによる福音書4章46～54節 (P167)

音 楽 ① 砂川由紀姉・田中隆美姉(V)
②③ ばんたまの 潘珠乃女史

メッセージ ① 「素晴らしい福音」 久保田豊副牧師
② 「赦し…究極の奇跡」 大川従道監督牧師(V)
③④ 「帰り道」 小山英児主任牧師

賛 美 「うたいつつ歩まん」(聖歌498番) 献金
頌 栄 「父、御子、御霊の」(聖歌383番) アーメン
祝 禱 大川従道監督牧師

「それゆえ、信仰は聞くことから、聞くことはキリストの言葉によって起こるのです。(ローマ十の十七)」

【大和ニュース】

- ☆本日16時から広尾にて東京伝道！来週は国府津伝道も！説教は大川師。乞祈！
- ・ 第2・3礼拝の特賛は潘女史。(北海道)札幌ホーリネス教会・土屋勇人師の義姉。
 - ・ 本日、カレー販売(シャローム館)、モーセ・ヨシュア会(12:30 3Fフェロシップ)、プレミアムクワイア(12:45 泉)、CBS(石黒師14:30 シャローム館)、青年・学生・ヤンチャ。
 - * 今週も祈禱会を大切に！水曜夜と木曜朝。説教は小林詩音副牧師。(木曜:ヌイヌイ) CBS(火曜・森屋師、木曜・小林師、金曜・小山師 14:00)
 - ・ 土曜日は花盛り！会堂掃除(12:00)、プレミアムクワイア(13:30 泉チャペル会堂)、聖歌隊(13:30 森チャペル会堂)。
 - * 主日礼拝人数 ①86人(228) ②220人(192) ③266人(186) ④35人=1213人
火曜 午前250人(134) 午後177人(118) 水曜108人(137) 木曜130人(103)

※()内は YouTube のライブ人数

石の枕

先週の日曜日、予定通り16時から「21世紀キリスト宣教会」で特別礼拝が行われた。主の恵みがあふれて感動の「主の日」となった。ハレルヤ！

私大川牧師の感動のひとつは、集会の30分前から、特別室で「備えの祈禱会」がなされていた。私からお願いしたわけではないのに、15人ほどの方々（皆大和教会の人々）が、心を合わせて祈って備えて下さった。教会は「祈りの家」だと、主は言われた。祈りこそ、最大の力となる。老牧師の私を心底励ましてくれた。一生の思い出となる。

同時に、月一回の「執事会祈禱会」が、シャローム館でなされた。忙しい方々が、時を聖別して集合して下さる驚くべき習慣、もう何十年も続いている。

その中心を担った「安藤せい姉」の名をとって「せい禱会」という。もう天に召された方であるが、大川牧師の高校一年のときから多面にわたって支えて下さった婦人信徒さん。貧しい生徒に、よく食事をふるまって、励まして下さった愛の人、親もと離れて高校生活を過した私にとっての恩人である。きっと天国でも「賛美と祈りの集会」をしておられる。私を幸せにして下さった母親のような女性であった。私の誕生日を忘れずに30年以上カードを下された。

もうひとつの証詞を紹介したい。2000年12月、恵比寿の予備校の教室で毎日曜夜、伝道集会が始められた。A兄は生れてはじめて、大川牧師のメッセージを聞き、初めてイエス様に会った。（以下は、本人のお手紙より）

この集会の帰り道、「私が長いこと求めていたものは、これであった」という思いに捉えられ、私にはこの信仰が必要だったのだということを知った。

東京で暮らし始めてから、ずっとつきまとっていた、そこはかたない不安、砂をかむような虚しさ、生きる目標も持たず、只「生きながらえれば、それでよし」としていた消極的な生き方。それらのものが静かに消えて行きました。

そして一年後受洗。五十代半ばで、その後の人生にすばらしいビジョンを与えられました。生き返ることができました。輝かしい未来を夢見ています。八十才になって福音を喜び伝える者であることを感謝しております。

（ごく最近、このような証詞文が、私の書齋で見つかった。）（文責：大川師）

宿題（祝大） 今週もむさぼるように聖書を読みましょう！

Aコース：ヨハネ6章～8章 Bコース：列王下18章～歴代上10章